

ウミスズメのなかま



カムムリウミスズメ

ウミスズメに近縁の海鳥で、全長 24cm。白い後頭部に黒い冠羽があるのが特徴です。繁殖地は日本とその周辺に限られ、宮城県枇榔島や伊豆諸島などの離島で繁殖します。国指定天然記念物、IUCNのレッドリストで**絶滅危惧Ⅰ類**、環境省レッドリストで**絶滅危惧Ⅰ類**に指定されています。



ウミガラス

ウミスズメ類では大型で、全長 43cm。天売島が国内唯一の繁殖地で、「オロロン」という鳴き声から「**オロロン鳥**」と呼ばれています。かつては 8000 羽ほど生息していましたが 10 数羽にまで**激減**し、環境省の保護事業によって現在は 60 羽ほどに回復しています。環境省レッドリストで**絶滅危惧ⅠA類**に指定されています。



ケイマフリ

赤い足が特徴の中型のウミスズメ類で、全長 37cm。アイヌ語の「ケマ(足)フレ(赤い)」が和名の由来です。国内では天売島や知床半島などで繁殖します。そのうち天売島が**国内最大の繁殖地**で、500羽から 600 羽ほどが生息しています。環境省レッドリストで**絶滅危惧Ⅰ類**に指定されています。



ウトウ

中型のウミスズメ類で、全長 38cm。北太平洋に広く分布しています。繁殖期には嘴の付け根に突起と目と嘴の後ろに白い飾り羽が現れ、独特の風貌をしています。国内では北海道や東北の離島で繁殖し、なかでも天売島が**世界最大規模**で、およそ 40 万つがい繁殖しています。

天売島にウミスズメを見に行こう！

天売島までの交通

羽幌町から
フェリーで | 時間 30分
高速船で | 時間 |

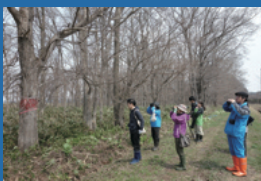


羽幌までの交通

札幌から車で国道 23 | 号線経由 約 | 84 km
高速道路 (道央道 深川留萌道利用) 約 205 km

沿岸バス【札幌発・特急はぼろ号】で約 3 時間 | 0 分
(高速道路経由)

北海道海鳥センター友の会の活動



友の会は、有志によって海鳥センター設立とほぼ同時に作られた民間非営利団体です。海鳥に広く親んでもらう為に、様々な活動をしています。



- ・羽幌のんびり自然観察会
- ・天売島子ども海鳥観察会のサポート
- ・海鳥を守る海岸清掃
- ・天売猫の取り組みへの協力
- ・はぼろ eco シネマ など



会員募集中！

一緒に活動に参加してくれる仲間や、活動への支援を募集しています。

入会をご希望される方は、海鳥センターまでお問い合わせください (mail 可)。

■会費種別 普通会員 1,000 円 家族会員 1,500 円 法人会員 5,000 円

発行 北海道海鳥センター友の会
住所 北海道苫前郡羽幌町北 6 条 1 丁目
電話 0164(69)2080 / mail seabird@town.haboro.lg.jp
(北海道海鳥センター内)

このパンフレットは一般財団法人 前田一歩財団の助成を受け、作成しています。

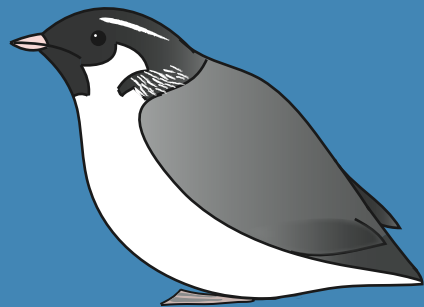


天売島のウミスズメ

北海道海鳥センター友の会



ウミスズメとは



和名：ウミスズメ（海雀）
英名：Ancient Murrelet
学名：Synthliboramphus antiquus
全長：26cm

チドリ目ウミスズメ科に属する、全長26cmほどの小型の海鳥です。
頭と顔が黒く、首から腹は白、背中と翼は灰黒色をしていて、
首が短く丸っこい体型をしています。
北太平洋に分布し、日本では北海道の天売島のみで繁殖しています。
環境省のレッドリストで、絶滅危惧IA類に指定されています。

ウミスズメ科の海鳥は、翼を使って空を飛ぶことも、
海を潜ることもできます。
翼は潜水しやすいように体の大きさの割に小さく、
翼を素早く連続的に羽ばたかせて飛びます。



潜るときは、まるで水中を飛んでいるように泳ぎます。
水深20mくらいまで潜ることができ、
水中でオキアミや小魚などを捕食します。



一生のほとんどを海の上で過ごします。
陸に上がる時は繁殖期に限られ、
離島の崖などで繁殖します。

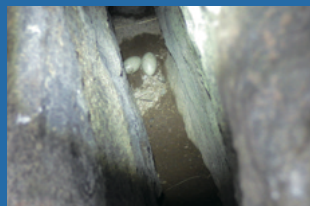


海鳥繁殖地



天売島とウミスズメ

天売島は北海道の北西、日本海に浮かぶ小さな島です。
東側に集落があり、約300人が暮らしています。
西側は標高が高く、海岸は切り立った断崖が続いています。
この崖にウミスズメをはじめ約100万羽の海鳥が生息しています。



崖の隙間にあったウミスズメの卵

ウミスズメは岩の隙間などを利用して営巣します。
毎年5月ごろに卵を産み、
1ヶ月ほど卵を温めます。

卵から孵った雛は1日から2日で巣立ちます。
雛は崖を転がるように海まで降りると
親鳥とともに沖へと泳ぎ、
子育ては全て洋上で行われます。



天売島

(周囲12km)



天売島で捕獲したウミスズメとヒナ

天売島でのウミスズメの生息数は、
1957年に500羽、1987年に200羽
(推定個体数)という記録がありますが、
それ以降は調査が行われていませんでした。
2012年から北海道海鳥センター友の会が
調査を行い、現在は200羽から300羽程度
の生息を確認しています。

ウミスズメを守ろう!



海鳥を襲う天売島のノラネコ



天売島で捕獲したドブネズミ

ウミスズメは、かつて天売島以外の北海道や東北の離島でも
繁殖していましたが、現在は確認されていません。

ウミスズメは陸上での行動が苦手で、
ネコやドブネズミなどの外来ネズミが繁殖地に侵入すると、
壊滅的な被害を受けるとされています。
天売島にもノラネコとドブネズミがいますが、
どのような影響を受けているのかは、
ほとんど分かっていません。
ウミスズメを守るためには、個体数の変化を把握することや
外来ネズミの影響を調査することなどが重要です。

私たちにできること

ご協力
下さい!

- ノラネコにエサをあげない
- ドブネズミの餌となる生ゴミを残さない
- 海岸清掃などの活動に参加する
- 北海道海鳥センター友の会の活動に参加する
- 多くの人に伝え、共感してくれる仲間を増やす



漂着ゴミの中で子育てするウミスズメ